

令和 7 年 度 決算報告書

令和 8 年 度 事業計画書

第25期 事業報告書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

令和7年度、当社はまちづくり会社として、また、岩見沢市から公共施設の管理運営を委託された指定管理者として、次の事業を行いました。

であえーる岩見沢につきましては、円安物価高騰の中で、テナントスペースのLED改修工事をすすめるなど経済的効果のある投資をしてきました。テナントについては、入退店に関わる調整、新規契約など収入安定に努めてきた一方で、苦しい経営状況のテナントとの面談を重ね、個々の契約形態や賃料の見直しなどを行い、商業施設の機能と維持に努めてまいりました。また、まちづくりの取組では、岩見沢市商店街振興組合連合会と中心市街地で活動する団体で構成される、まちなか商店街の定例会に参加し、情報交換やであえーるとの連携事業、まちなかライナーの発行（毎月）、自社のInstagramでの情報発信に取り組み、その結果、入込客数は前年並みを維持することができました。

交流空間事業につきましては、お客様に好評である「キッチンカー大集合」を毎月（冬季除く）2回三条広場で開催し、「いわみちゃんカフェ」は毎月1回であえーる2階のカフェアルテにて開催いたしました。また2階のひなた広場は、たくさんの団体の方に利用されており、特に「マルシェ」は毎月4～5の団体の作家さんが開催しているなど、年間432団体（前年比101%）の利用となりました。またスポット事業としては、まちなかのお店をまわる「シールラリー」を開催し、まちなか回遊や店舗のPRにも寄与することが出来ました。

あそびの広場につきましては、上半期恒例の2025夏まつりは猛暑の中、縁日に300人もの参加があり、真夏を綾どり、毎月開催の季節ごとの自主事業では、スタッフ考案の「作って鳴らそう！カスタネットサンタ！」や、毎週水曜日の読み聞かせ（テナント冬春創社との企画）を実施し、10周年記念事業では、こぐま座で活躍中の劇団による、人形劇とワークショップで子供たちを夢中にさせ、夢と想像力を育むイベントを行ってきました。さらに、あそびの広場のスタッフの献身的な見守りと環境整備の結果、令和8年からの指定管理者に新たに選定され、年間利用者も59,135人（前年比104%）を達成いたしました。

イベントホール赤れんがにつきましては、まめフェス・百餅祭り（情熱フェスティバル）・DIGFEST・ねぶた祭・ドカ雪まつり等の大型イベントの開催や、ポイントカードの周知による貸室の利用促進に取り組むとともに、自主事業である「ダンス発表会」「ちびっこフットサル大会」を開催し、年間総利用者は123,882人（前年比104%）となりました。

令和7年度の主な会議

令和7年5月16日 第1回取締役会の開催

▼主な事項

1. 交流空間実績報告の件
2. 赤れんが実績報告の件
3. あそびの広場実績報告の件
4. 第3ポルタビル管理組合に対する損害賠償の件
5. 第24期定時株主総会議案書の件

令和7年5月26日 定時株主総会

▼主な事項

1. 第24期計算書類及び付属明細書承認の件
2. 剰余金処分の件
3. 役員報酬の減額の件
4. 取締役辞任に伴う役員選任の件

令和7年8月18日 第2回取締役会の開催

▼主な事項

1. 令和7年度収支報告（4月～7月）の件
2. 交流空間実績報告の件
3. 赤れんが実績報告の件
4. あそびの広場実績報告の件

令和7年11月14日 第3回取締役会の開催

▼主な事項

1. 令和7年度収支報告（8月～10月）の件
2. 交流空間実績報告の件
3. 赤れんが実績報告の件
4. あそびの広場実績報告の件

令和8年2月17日 第4回取締役会の開催

▼主な事項

1. 令和7年度収支報告（11月～令和8年1月）の件
2. 交流空間実績報告の件
3. 赤れんが実績報告の件
4. あそびの広場実績報告の件

(単位:円)

科 目	金 額		
I 売 上 高			
指 定 管 理 業 務 収 入	62,142,275		
中心市街地活性化事業収入	1,430,201		
不 動 産 事 業 収 入	179,049,668		
第3ポルタ委託料収入	2,400,000	245,022,144	245,022,144
II 売 上 原 価			
期 首 棚 卸 高		0	
商 品 仕 入 高	999,028	999,028	
合 計		999,028	
期 末 棚 卸 高		0	999,028
売 上 総 利 益			244,023,116
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費			
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		248,562,481	248,562,481
営 業 損 失			4,539,365
IV 営 業 外 収 益			
受 取 利 当 息		164,963	
受 取 配 当 金		5,000	
雑 収		28,746,426	28,916,389
V 営 業 外 費 用 失			
雑 損		20,723,071	20,723,071
経 常 利 益			3,653,953
VI 特 別 利 益		0	0
VII 特 別 損 失		0	0
税 引 前 当 期 純 利 益			3,653,953
法人税、住民税及び事業税		633,300	633,300
当 期 純 利 益			3,020,653

販売費及び一般管理費の計算内訳

株式会社 振興いわみざわ

令和 7 年 4 月 1 日 から

令和 8 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額
諸 会 費	131,500
広 告 宣 伝 費	999,123
運 営 手 数 料	84,500
支 払 手 数 料	369,871
委 託 費	84,076,470
役 員 報 酬	3,850,000
給 料 手 当	34,086,736
雑 給 料	12,891,421
法 定 福 利 費	5,686,934
厚 生 費	1,057,480
会 議 費	7,559
減 価 償 却 費	14,306,270
地 代 家 賃	12,714,017
修 繕 費	9,243,430
通 信 交 通 費	829,149
水 道 光 熱 費	55,421,403
租 税 公 課	373,319
寄 付 金	18,193
接 待 交 際 費	185,411
保 険 料	2,486,310
備 品 消 耗 品 費	5,215,414
管 理 諸 費	135,022
リ ー ス 料	1,799,522
賞 与 引 当 金 繰 入	900,000
雑 費	1,693,427
合 計	248,562,481

貸借対照表

株式会社 振興いわみざわ

代表者 五十嵐 一朗

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産	(149,010,997)	I 流 動 負 債	(62,348,546)
現金及び預金	118,621,269	未払費用	25,071,092
売掛金	2,637,000	未払法人税等	633,300
であえ～る未収金	9,624,924	未払消費税等	7,276,400
前払費用	121,810	前受金	5,473,184
未収入金	17,868,652	預り金	441,437
立替金	137,342	預かり敷金	22,553,133
		賞与引当金	900,000
II 固 定 資 産	(99,683,464)	II 固 定 負 債	(100,900,800)
有形固定資産	(98,957,464)	リース債務	100,900,800
構築物	3,514,926		
工具、器具及び備品	628,429		
造作	1,449,489		
リース資産	91,728,000		
建物附属設備	1,636,620		
無形固定資産	(16,000)		
電話加入権	16,000		
		負債の部合計	163,249,346
		(純 資 産 の 部)	
		I 株 主 資 本	(85,445,115)
		1. 資 本 金	10,000,000
		2. 資 本 剰 余 金	(50,000,000)
		(1) その他資本剰余金	(50,000,000)
		資本金及び資本準備金減少差益	50,000,000
		3. 利 益 剰 余 金	(25,445,115)
		(1) 利 益 準 備 金	916,713
		(2) その他利益剰余金	(24,528,402)
		繰越利益剰余金	24,528,402
		II 評価・換算差額等	(0)
III 繰 延 資 産	(0)	III 新 株 予 約 権	(0)
		純資産の部合計	85,445,115
資産の部合計	248,694,461	負債・純資産の部合計	248,694,461

株主資本等変動計算書

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

(単位:円)

I 株主資本			
1. 資本金	当期首残高		10,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>10,000,000</u>
2. 資本剰余金			
(1) その他資本剰余金			
資本金及び資本準備金減少差益	当期首残高		50,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>50,000,000</u>
その他資本剰余金合計	当期首残高		50,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>50,000,000</u>
3. 利益剰余金			
(1) 利益準備金	当期首残高		916,713
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>916,713</u>
(2) その他利益剰余金			
繰越利益剰余金	当期首残高		21,507,749
	当期変動額		
	当期純利益	3,020,653	<u>3,020,653</u>
	当期末残高		<u>24,528,402</u>
その他利益剰余金合計	当期首残高		21,507,749
	当期変動額		
	当期純利益	3,020,653	<u>3,020,653</u>
	当期末残高		<u>24,528,402</u>
株主資本合計	当期首残高		82,424,462
	当期変動額		
	当期純利益	3,020,653	<u>3,020,653</u>
	当期末残高		<u>85,445,115</u>
II 評価・換算差額等			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
III 新株予約権			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
純資産の部合計			
	当期首残高		82,424,462
	当期変動額		
	当期純利益	3,020,653	<u>3,020,653</u>
	当期末残高		<u>85,445,115</u>

個 別 注 記 表

令和7年4月1日から

令和8年3月31日まで

Ⅰ. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用しております。
2. 固定資産の減価償却方法
 - (1) 有形固定資産
定率法又は旧定率法を採用しております。
ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。
なお、平成15年4月1日以後に取得した取得価額30万円未満の資産については、取得時に費用処理しております。
 - (2) 無形固定資産
定額法又は旧定額法を採用しております。
3. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

Ⅱ. 貸借対照表等に関する注記

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額 | 97,990,396円 |
|-------------------|-------------|

Ⅲ. 株主資本等変動計算書に関する注記

- | | |
|------------|------|
| 1. 発行済株式総数 | 200株 |
|------------|------|

Ⅳ. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、427,225.57円であります。
2. 一株当たり当期純利益は、15,103.26円であります。

以 上

監査報告書

令和8年5月12日

株式会社振興いわみざわ 殿

監査役 熊尾 憲昭

私は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの第25期事業年度の取締役職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1、監査の方法及びその内容

私は、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表）及びその付属明細書について検討いたしました。

2、監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその付属明細書は、法令および定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその付属明細書の監査結果

計算書類及びその付属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

第26期 事業計画書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

1. 事業概要

令和8年度においては、依然として、経済全体ではサプライロスとコストプッシュ型の物価上昇が続いており、家計においては、物価上昇に賃金上昇が追い付かず、実質賃金の低下にともない、消費需要が停滞・減少しています。そのような情勢下においても、サービスの質向上と安心安全な環境を提供していくことを基本とし、生産性を高めながら必要な事業を選定し、国の経済政策や日銀の動向に留意しながら、施設全体の運営に努めてまいります。

であえ一岩見沢につきましては、テナントとの密な情報交換や、関係企業団体との連携を強化し、施設全体の価値を高め集客向上を目指してまいります。中心市街地についても、まちづくり会社として、商店街の回遊と個々のお店や様々なイベントの情報発信に努め、活性化に寄与してまいります。

交流空間事業につきましては、2大イベントである「キッチンカー大集合」「いわみちゃんカフェ」は継続し、中心市街地への回遊を促進する事業や、Instagramやホームページによる情報発信などを行い、まちなか商店街の活性化に努めてまいります。

あそびの広場につきましては、市外利用者の入場料値上げによる利用者数と売上減少への対策として、受付システムの改良による簡単に迅速な入場対応と、お掃除ロボット導入により人件費の削減に努め、また集客力アップの新たなスポーツ教室の新設、人形劇や絵本の読み聞かせや工作体験などの自主事業をいままで以上に充実させ集客増を目指してまいります。

イベントホール赤れんがにつきましては、自主事業である「ダンス発表会」「ちびっ子フットサル大会」を引き続き開催するとともに、市民や事業者、文化・スポーツ利用促進及び稼働率向上を目指してまいります。

2. 収支計画（当初計画）

(単位：千円)

科 目		金 額	備 考
収 入	売 上 高	252,587	指定管理業務収入、不動産事業収入ほか
	営 業 外 収 益	10,205	雑収入ほか
収 入 合 計		262,792	
支 出	販売費及び一般管理費	261,744	委託費、給与、減価償却費、水道光熱費ほか
	営 業 外 費 用	0	
支 出 合 計		261,744	
経 常 利 益		1,048	